

先進的事例（日本語教育機関との連携）：就職活動に必要な日本語支援プログラムの実施

実施機関名：大学コンソーシアム京都

「日本での就業と社会生活」双方の不安を解消し、日本での就職意向を向上させる

日本語学習支援プログラムを実施する。

留学生の就職活動時における日本語の課題

<企業>

外国人留学生に求める資質・スキルについてベスト5
 (マイナビ 2017年卒企業外国人留学生採用状況調査)
 ◇日本語能力 **85.3%(第1位)**
 ※ネイティブ・ビジネスレベルを求める企業がほとんど

<留学生>

日本での就職活動時において、障害や不利となったこと
 (リクナビ 外国人留学生の採用・就職に関するデータ集より)
 ◇企業が外国人留学生に求める日本語能力のレベルが高い
37.8% (第3位)

日本語習得が就職活動のポイントに

KyoTomorrow Academyのプログラムで支援

当該事業における成果

ビジネス日本語講座参加者アンケート結果(回答者90名)

Q.日本語で就活をする不安は減りましたか？

非常に軽減された	5
はい	48
少し軽減された	29
いいえ	7

不安軽減に

【感想】

- ・就職活動だけではなく、日常生活でも活かせるので、大変勉強になりました。
- ・わかりやすい日本語で履歴書の書き方がわかりました。
- ・会話する時注意しないといけないことを教えてもらいました。
- ・すごく勉強になりました。面接のために安心しました。

KyoTomorrow Academyの日本語支援プログラム

就職活動・ビジネスに必要な日本語の習得
 (就職活動時の日本語の不安を解消)

知る

○Company Visit
 日本企業を見学し、仕事の魅力、仕事現場の様子を見学。企業で必要とされるスキルを知る(日本語を含む)。

学ぶ

○ビジネス日本語講座
 就職活動に必要な、またビジネスシーンで必要となる日本語を学ぶ講座。日本語学校の講師が解説。

○就活チーム(キャリアコンパス)

留学生と日本人学生にてコミュニティを形成し、日本の就職活動について学ぶチーム。

実践

○就職面談会・就職交流会
 日本の企業の社員との意見交換・交流会。自身の日本語を活かして実践。

学びと実践のサイクル

就職活動を行う学生を誘導

日常会話・交流機会のニーズに対応

企画連携・事業の紹介等(オール京都での支援)

日常会話・交流に必要な日本語の習得
 (日常生活時の日本語の不安を解消)

○日本語チーム(BN2)
 日本語教師を目指す学生スタッフが企画運営。同世代間での日本語アクティビティを通じて日本語を習得。

○サポートチーム
 コミュニティ参加留学生の交流イベント。交流または京都地域の魅力を感じる文化体験が盛り込まれた企画を実施。

<外部団体との連携>

留学スタディ京都ネットワーク
 留学生有給インターンシップ

京都府
 ビジネス日本語養成研修

京都ジョブパーク
 ジョブフェア

京都府国際センター
 グループディスカッション講座